



振花(ネジバナ)

- ▶ ぎふ技術革新センター研究設備一覧
- ▶ 試験方法の紹介 耐食性試験について

ぎふ技術革新センター設置機器一覧

平成23年度に開設する『ぎふ技術革新センター』の主な研究設備は以下の39機種になります。各機器の概略は『振花通信No.12』（平成22年度No.5）をご覧ください。ぎふ技術革新センターでは研究設備を利用した依頼試験と共に多くの機器を開放試験設備として皆さんにご利用いただけるような運用も検討しています。現在、建物改修工事によりご不便をお掛けして申し訳ありませんが、ぎふ技術革新センターを是非ご利用ください。（ぎふ技術革新センターの運営開始：平成23年5月中旬を予定）

5軸NC加工機	万能試験機	3次元測定機
CAD/CAM	振動試験機	画像測定機
精密平面研削機	電磁力式微小試験機(マイクロサーボ)	ICP質量分析装置
プロファイル研削機	コンパクト油圧加振機	発光分析装置
電動サーボプレス	恒温恒湿室	赤外分光光度計(FT-IR、ラマン分光)
大気圧プラズマ装置	耐候試験機(スーパーキセノン)	オージェ電子分光分析装置
小型オートクレーブ	耐候試験機 (サンシャインウェザーメーター)	恒温恒湿器
工具顕微鏡	発熱測定試験機	乾燥機
ホットプレス	原子間力顕微鏡(AFM)	自動X線回折装置
3次元レーザー加工機	集束イオンビーム 高分解能走査電子顕微鏡複合装置	超音波検査装置
超音波溶着装置	EBSD解析用断面試料作製装置	X線CTシステム
落錘型衝撃試験機	金属顕微鏡	熱分析装置
疲労試験機	フィールドエミッション 電子プローブマイクロアナライザ	ガスクロマトグラフ質量分析装置

試験方法の紹介 耐食性試験について

めっきなどの表面処理や金属材料の耐食性を評価する試験の1つとして「塩水噴霧試験」があります。塩水噴霧試験は、試験槽内に塩水を噴霧し、槽内に配置した試験片へ霧がかかる状態にし、一定条件(温度・時間など)で製品表面に発生した錆などの腐食状態を評価します。

試験方法／使用溶液	内 容	備考 規格等
中性塩水噴霧試験 使用溶液: 5%塩化ナトリウム溶液	35℃に設定した試験槽に5%塩化ナトリウム溶液を噴霧し、試験片の腐食や皮膜の劣化などを調べる方法	JIS Z 2371:塩水噴霧試験方法 JIS H 8502:めっきの耐食性試験方法
キャス試験 使用溶液: 5%塩化ナトリウム溶液+酢酸+塩化銅(II)の混合液	50℃に設定した試験槽に5%塩化ナトリウム溶液と酢酸と塩化銅(II)の混合溶液を噴霧し、中性塩水噴霧試験より過酷な条件で試験片の腐食や皮膜の劣化などを調べる方法	JIS Z 2371:塩水噴霧試験方法 JIS H 8502:めっきの耐食性試験方法
サイクル腐食試験 使用溶液: 5%塩化ナトリウム溶液	塩水噴霧、乾燥、湿潤を一定サイクルで繰り返して試験片の腐食や皮膜の劣化などを調べる方法	JASO M 609-91:自動車用材料腐食試験方法 JASO M 610-92:自動車部品外観腐食試験法

<当所所有の塩水噴霧試験用設備>

○サイクル腐蝕試験機(写真)

(板橋理化学工業株式会社製 BQ-I型)

※機器仕様は平成20年度ミニ情報誌No2をご覧ください。

○キャス試験機

(スガ試験機株式会社製 CASSER-ISO-3)

<手数料>

試験開始後24時間以内3,370円、以降24時間当り2,040円



この設備は機械工業の振興を目的とした、けいりんの売上金の一部からの補助を受けて整備したものです。

